

7/31
・8/1

総務常任委員会 行政視察報告



7月31日は栃木県宇都宮市において、「移住定住の促進について」をテーマに行政視察調査を行いました。

宇都宮市は、県庁所在地であり、東京まで新幹線で50分足らずという地理的にも優位な地域ですが、人口減少の懸念は他地域と同じく、15年後には10万人の減少が見込まれており、その減少を5万人に食い止めようと様々な施策を実施されています。

そのような中でも「移住定住促進」においては、市の現状や社会情勢の分析に力を入れ、市をブランディングするために移住促進プロモーションとして、テレビCMの放映や通勤圏の電車のつり看板、首都圏の若者をターゲットにした来訪意欲を喚起するSNS発信など、できうる移住定住促進策を実施した結果、相談件数が12倍となり、移住者数も13倍となったとのことでした。人口動態の分析では若者の流出が多いため、若者や女性の結婚に向けたマッチング施策の取り組みがあり、高島市も同様の課題があることから、非常に参考となる内容でありました。

8月1日は宮城県仙台市において、「仙台市DX推進」をテーマに行政視察調査を行いました。

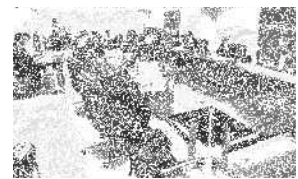
仙台市では、「仙台市DX推進計画」を策定し、集中改革期間や高度化期間を設け、着実な計画となるよう取り組まれていました。目指す姿は、DX推進による「人と市役所の関わりの変革」「書かない・行かない・待たない」行政サービスの提供によってその先の「人中心の行政サービス」を提供することでありました。

市民が遭遇する手続きに、実際どれだけの時間がかかるのかを調査するため、職員が市民の立場になり実際の手続きを行い、現状を把握し、課題の洗い出しをした事業などは大変参考になりました。

両市の取り組みを参考にし、当委員会として市の政策に活かしていけるよう調査・研究していきたいと考えます。



宇都宮市視察



仙台市視察

8/4

議会広報広聴委員会 行政視察報告

8月4日に滋賀県近江八幡市議会において、「議会報告会」についての行政視察調査を行いました。

近江八幡市議会においては、平成23年度から議会報告会をコミュニティセンター等で開催していましたが、年々参加人数は減少、さらに参加者が固定化されたことから、令和元年度より議会の取組みを可視化することを念頭に、商業施設における「カフェ形式」での開催に変更され、市民が気軽に議員に意見を伝えられる環境づくりを進めておられます。

カフェコーナーや、キッズスペースを設けて立ち寄りやすい雰囲気をつくり、市民が簡単に答えやすいアンケートをシール形式で行うことで、様々な世代の方に関心をもってもらえるよう様々な工夫をされておられました。

カフェ形式については、市民と議会の距離を縮める有効な手段であり、リラックスした雰囲気の中で率直な意見が出やすいと感じましたので、高島市でも内容を工夫すれば開催ができるのではと考えます。

高島市議会としても最初から大掛かりなことはできないにしても、市民の関心の高まりや意見聴取につながるような取り組みを実現できるように、検討を進めていきたいと考えております。



7/25・30

議会改革推進会議 行政視察報告

議会改革推進会議では、タブレット端末の導入と予算・決算の審議方法について、7月25日に野洲市議会を、7月30日に大津市議会を訪問し視察研修を行いました。

まずタブレット端末の導入については、野洲市議会では情報取得の迅速化が図れ、用紙代やコピー費用、資料作成にかかる労務費など、約100万円程度の経費削減にもつながっているとのことでした。

大津市議会では操作者の端末にあわせてタブレット画面が一斉に動作する同期が可能であり、臨場感ある質問ができるようになったことや、資料の共有やスケジュール機能を活用することで利便性が向上したとのことでした。

次に予算・決算の審議方法については、両市とも従前から分科会方式を採用しており、これまで審議過程において特に問題となるようなことは生じていないとのことでした。

高島市議会としては、今回の視察内容を参考に、議会改革推進会議で検討を進めていきたいと考えております。

